

## 朱雀第六小学校の歴史

### 朱六の森と朱桜教育

#### 朱六の森が生まれた背景

##### ○学校の位置と敷地

- ・校内の北側に線路がある。  
⇒ 開校当時は、汽車の煙や警笛、その他の騒音が多かった。
- ・おまけに、学校の敷地は、創立以前は電機工場の敷地だったので、木が1本もなくぺんぺん草が程度の雑草が生える荒地だった。
- ・校庭は地下水が高く、30cmも掘ると水が枰ほどの湿地で、木の根がつきにくい悪条件であった。

##### ○始まりは・・・

- ・初代 上原昌平校長や教職員が奮起して植樹活動を行った。

##### ○それから・・・

- ・父兄の記念植樹や地域の方々の記念植樹もあったらしい。
- ・教職員もポケットマネーを出し合って植樹した。
- ・校区の方からの苗の寄付も多かった。
- ・当時は公園や社寺の代わる『緑のオアシス』としての機能をもっていた。

##### ○朱六の森の種類

- ・イチョウ・サクラ・アジサイ・サザンカ・ナンテン・夏ミカン・ザクロ・マツ

##### ○その他

- ・近隣に住んでおられた水野万次郎さんという創立以来用務員をされていた方が、退職後も手入れをしてくださっていた。

#### 朱桜教育

○戦後、学制改革と共に、新教育実践のはたじるしを掲げ、その成果を問う全国発表を行った。  
昭和20年代に10回の全国発表。教職員だけでなく、地域諸団体・保護者を挙げての取組は、当時の話題となったらしい。

##### ○朱桜教育のねらい 【昭和20年代】

「自ら考え、自ら決断する自主的、主体的な人間、自己の言動に責任をもち、  
他人の人権を尊重して、ともに働きともに楽しんで生活を創造する人間を目指す」

##### ○朱桜教育の3領域

「ならう」「はたらく」「つとめる」

⇒ 運動会での野外ページェント

四国の小松島校との交換学習 などされていたそうです。